

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和七年七月十日発行（毎月一回十日発行）

定価 五〇〇円

第1006号

龍

跳

秋季昇段・級試験課題発表

第八十一卷

8

月号

高知
龍跳書道会

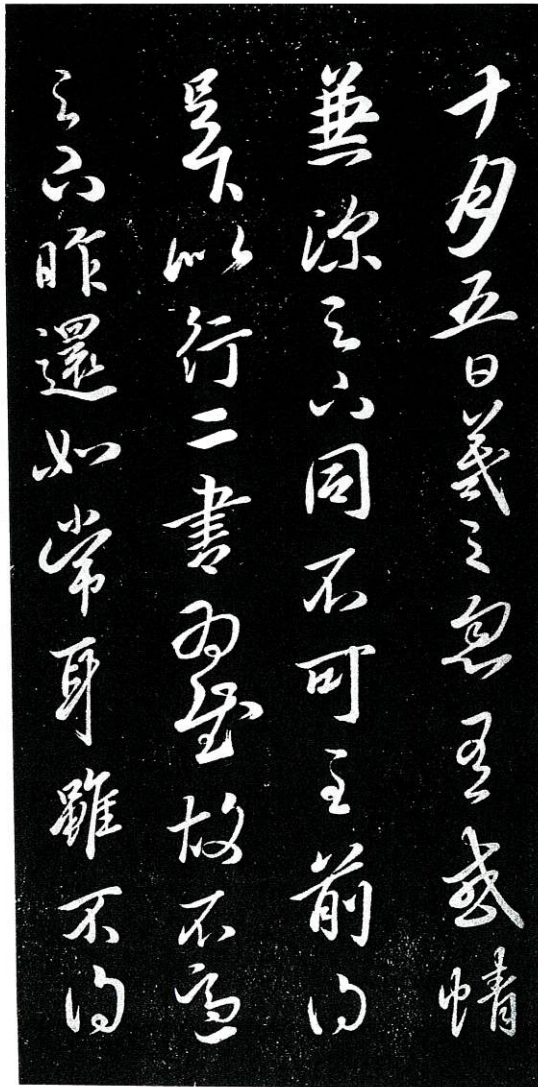
竹
村
子
雀
書

人孰
為文
明藝
會如
嗜欲
已古

孰文芸如嗜欲以古人為朋曹

十月五日帖

王羲之



十月五日羲之忽有感情 / 兼深足下同不可至前得 / 足下似二書為慰故不適 / 足下昨還如常耳雖不得
 十月五日、羲之忽ち感情の兼ねて深き有り、足下同に至る可からず、前に足下の行に似たる二書を得たり、慰と為す
 も、故より適わず、足下 昨還り、常の如き耳ならん、旨問を得すと雖も、遠く足下の書を得て、輒ち具問するを
 慰と為す、吾れ頃ろ胸中惡しく、食するを欲せず、積日勿々たり、五日來り少しく差ゆ、七日 王羲之白す、

王羲之の生きたのは六朝時代である。

中国では、唐代以降、明代頃まで王羲之の字を集めて碑を造ることが盛んに行なわれた。尺牘とは書簡、手紙で、もともと尺は長さの単位・牘は文字のこををしるす木の札である。

すなわち長さ一尺の木簡をいう。

岡 林 邦 心 書

己見寒梅發復聞啼鳥聲
愁心視春草畏向玉階生

己見寒梅發復聞啼鳥聲
愁心視春草畏向玉階生

邦心書

印

武 内 美 仁 書

黃河曲裏沙爲岸
白馬津邊柳向城

黃河曲裏沙爲岸
白馬津邊柳向城

美仁書

印

梅
川
桂
龍
書

松投
根杖
倚

杖を投じて松根に倚る

8月20日締切

福 原 曉 雲 書

亀^{かめ}上^{うへ}り^は半^{はん}ば^き歌^{うた}つ^た運^{うん}

足下遠如常耳

福 原 曉 雲 臨 十月五日帖

足下遠如常耳

足下遠如常耳

大 原 桂 園 臨

尚強之此強波故桃
之生也五言桂園

田 村 和 子 臨

君謙遷字公方陳留
已吾人也君出和子

江 西 澄 翠 書

肉錦亞錦魚來樂
合散即說山日青澄翠

西 山 極 山 臨

知難事涉史列置一榻
使使百寮共得瞻西山

南陽文公鄭君之碑
草公諱字幼驕

朱鳳

藤原朱鳳

宗廟上爵朝廷上位皆有
等威以明長幼故得拜

弘田賀峰

弘田賀峰

白髮三千之緣紅山簡長
少時統書何家得紅

浜崎洋堂

浜崎洋堂

制詔衡史車卒以上人所
尊故也北省殺傷人母

小笠原廣峰

小笠原廣峰

如上佐事判史乎益
不知所由也

大井 淳

大井 淳

金剛衆灌頂人之曆名
釋寂澄因幡磨大塚

中平美峰

中平美峰

跡賤之子道奴德奴慶奴
僕之子龍兒洞陽三雄

岩河里華

岩河里華

芋暖雲留弟里春宮
花拂面送行人

山本恵歩

山本恵歩

親方經針子海之雲
智高陸石之奇

森光望春

森光望春

一衆也意中努力居二
衆也風條日笑

氏原美泉

氏原美泉

条幅当選作品 廣末幽念 選評

★天位

藤原朱鳳君 〓 粘りのある線質、構えの大きさ等申し分なし。

弘田賀峰君 〓 おだやかな線で好感がもてる。

浜崎洋堂君 〓 すっきりとして美しい。

小笠原廣峰君 〓 粘り強くよく表現している。

大井 淳君 〓 丁寧な気持ちを含めて表現している。

★地位

中平美峰君 〓 よく書きこんで余裕がある。

岩河里華君 〓 確かな書きぶりで良い。

山本恵歩君 〓 のびやかで暖かみがある。

★人位

森光望春君 〓 素直に書けています。

氏原美泉君 〓 やわらかくてよく伸びている。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

7月の審査は27日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

☆審査終了後、13:00から県展出品作勉強会を
おこないます。

泳会 競大

7月20日締切

水場 海浴

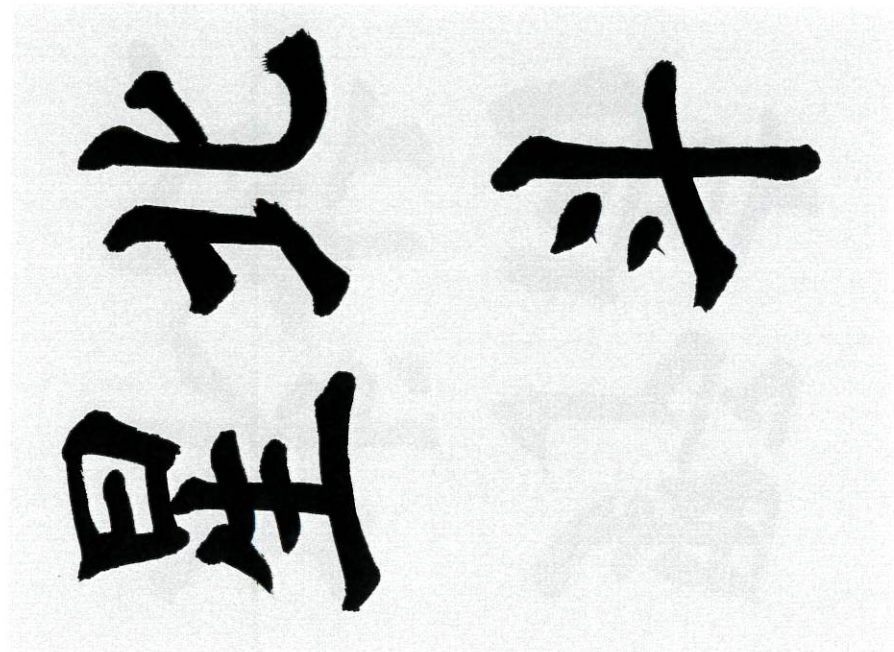
7月20日締切

野球 高校

8月20日締切

水車 小屋

8月20日締切



8月20日締切



8月20日締切

ぼん

8月20日締切

お

8月20日締切

持久走は、校庭から出発し									
て裏のトンボ池を回り、また									
校庭にもどるコース。なるべく									
止まらず、会話ができるペ									
ースを保つこと、ペアを組む									
のはそのためだという。									
学校名				六年	級段	氏名			

8月20日締切

ポップとは、本の近くにそ									
えられている広告のこと。本									
の内容のしょうかいや、書店									
の人によるおすすめの言葉が									
書かれた、手書きのカードが									
置かれていることがある。									
学校名				五年	級段	氏名			

8月20日締切

石田さんの家で買った									
体温計の取りあつかい説									
明書には、使用方法や使									
用上の注意など、知って									
おく必要のあることから									
が書かれています。									
学校名		四年		級段		氏名			

8月20日締切

空が暗くなっ たと思う									
と、雨がぽつぽつ落ちて									
きた。かけだしたぼくの									
耳に聞こえてきたのは、									
あの音だ。チリン、チリ									
ン、鳴り始めたのだ。									
学校名		三年		級段		氏名			

8月20日締切

かん	さん	つ	して	書
く	み	の	回	り
の	を	かん	さん	つ
「	かん	さん	つ	カ
				ー
				ド
を	書	き	ま	し
				よ
				う
				。

かっこう 二 ねん だ だ だ
き せう ん せう ん せう ん
なまえ なまえ なまえ

8 月 20 日 締 切

あ	さ	が	お	に
み	ず			
や	り	を	し	ま
し	た			
。				
は	な	が	さ	く
の	が	た		
の	し	み	で	す

かっこう 一 ねん だ だ だ
き せう ん せう ん せう ん
なまえ なまえ なまえ

8 月 20 日 締 切

がっこう										
	はな									
	だん									
	なまえ									
	み	ん	な	で						
	で	ん	し	や	ご	う	に			
	う	た	い	な	が	ら				
	は	し	り	ま	し	た	。			

8月20日締切

< 出品縣について >

臨書作品は出品名を必ず書いて下さい。

千里幸
相思
皓月書

千里幸
相思
雲漢書

千里幸
相思
雲北書

千里幸
相思
千晶書

千里幸
相思
香月書

(一・二段目) 梅川桂龍 選評
皓月君 墨量の変化もあり、全体に意が届いている。
賀峰君 整然として気力充実の作。
孝北君 伸びやかな線で力強い作。
千晶君 丁寧な書きぶりで安定感あり。

花梢君 大胆な筆致で字々生きている。
江月君 素直に書かれ、流れあり。
(二・三段目) 前田秀華 選評
淳君 流れよく強い線で決まってる。

理奈君 平気で大らかな運筆。
由香君 線に丸みがあり、明るい作。
幸子君 丁寧な書きぶりで決まってる。
美邦君 線に冴えと筆勢あり。
(三・四段目) 西山極山 選評
加寿君 温かな線で温かみを感じる。
美草君 伸びやかに落ちて落ちついている。

知加君 一画一画に書いていく。
隆光君 五文字よくまとめて書けている。
美香君 線は細いけど筆が立ち強く感じる。

紀美子君 筆圧がきき安定感がある。
千賀君 全体的に形よくとらえている。
真実君 小粒だが転折がしっかりしている。なので線の強さを感じている。
桂子君 五文字バランスよくかけている。

德累仁
慶届 賀峰

是日也
行三書 印心

三六同
不可至 廣成

是日也
天朗 廣成

三六同
不可至 廣成

是以名
無異 恒道

前日星下
行三書 恒道

屬國都
尉丞 仁陽

勿出故
不可至 廣成

三六同
不可至 恒道

十月五
日義之 隆光

母先竟
承志 美香

每慰
人心 虎之介

三六同
不可至 美香

三格
圓通 千笑

永和九
年歲在 桂子

(一・二段目)
賀峰君 鄭義下碑臨福原曉雲選評

邦心君 鮮明な作で、位置悪し、この

廣峰君 力強い王羲之の臨、これに文

恵歩君 良いい作に、下さす。更に

桂旭君 押さす。上に来ています

眉州君 量の研究が線質の課題を

(二・三段目)
悠道君 紅花君 祥君 仁陽君 紫秋君

加寿君 (三・四段目)
隆光君 明美君 美香君 虎之介君

美恵子君 千賀君 有紀君 桂子君

有紀君 運筆自在に流れ明快な作。

桂子君 運筆自在に流れ明快な作。

桂子君 運筆自在に流れ明快な作。

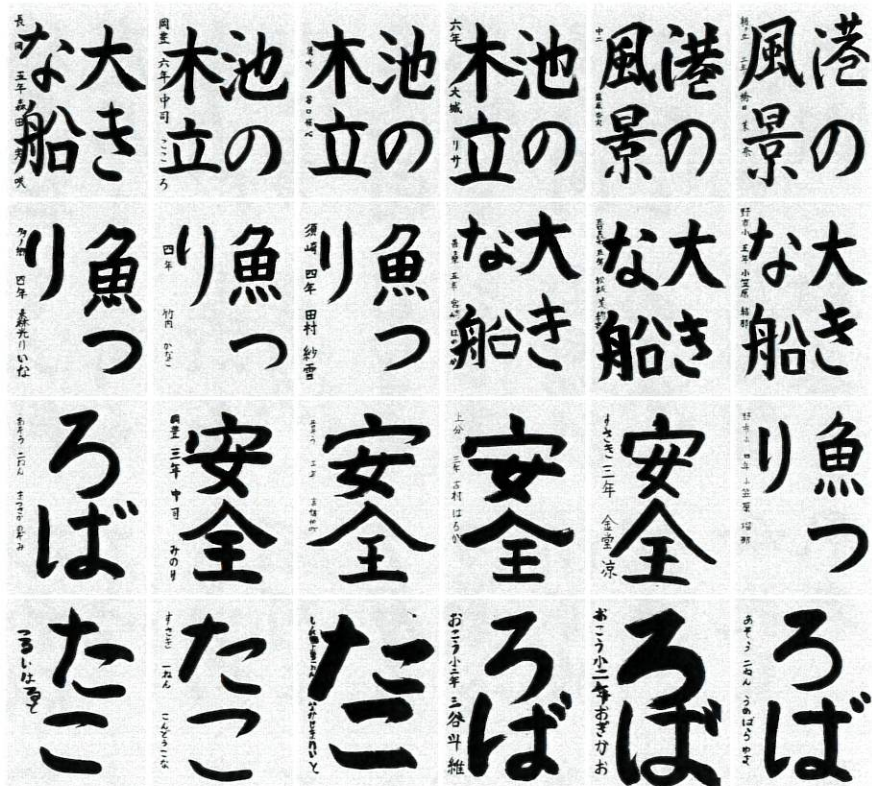
桂子君 運筆自在に流れ明快な作。

桂子君 運筆自在に流れ明快な作。

桂子君 運筆自在に流れ明快な作。

桂子君 運筆自在に流れ明快な作。

桂子君 運筆自在に流れ明快な作。



(一段目) 中学部 佐々木港花 選評

葉奈君 良くまとまっています。
杏実君 筆使いがすばらしい。

(一段目) 小学六年 深瀬緑堂 選評

リサ君 線がしっかりと力強い。
桜心君 大らかでよくまとまっている。
こころ君 びのびとして明るい。

(一・二段目) 小学五年

実咲君 明るくしっかりとまとめている。
結那君 一字一字でいねいに書けている。
美緒音君 力強く堂々としている。

穂花君 素直な作品で明るい。

(二・三段目) 小学四年 奥堂皓月 選評

紗雪君 しっかりと書いた良い字です。
かなこ君 一画一画に書かれています。
りいな君 力強くまとまっています。

瑠那君 美しく整っています。

(三段目) 小学三年

涼 君 びやかで整っています。
はるか君 線が強く元気があります。
依吹君 いていねいで良い字です。

みのり君 びやかで整っています。

(三・四段目) 小学二年 佐竹江月 選評

望未君 いていねいにまとまっています。
由菜君 びやかできもちの良い作品。
かお君 半紙いっぱい元気に書きました。

斗維君 力強く書きました。

(四段目) 小学一年

ゆいと君 元気がいっぱいに書きました。
こな君 びやかでしぜん体書けています。
遥都君 がんばって書けましたね。

多ノ郷 大城 リサ
須崎 松田 菜乃

俳句は、芭蕉によつて芸術として高められました。今も俳句を作る人は、全国に大勢います。また、最近では、世界で最も短い詩として海外からも注目されています。

多ノ郷 大城 リサ

俳句は、芭蕉によつて芸術として高められました。今も俳句を作る人は、全国に大勢います。また、最近では、世界で最も短い詩として海外からも注目されています。

須崎 菜乃 松田 菜乃

地球には、たくさんの生き物、さまざまな生き物がいます。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということです。しかし、よく見ると、その中に共通性があります。

長岡 小五 九 森田 実咲

地球には、たくさんの生き物、さまざまな生き物がいます。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということです。しかし、よく見ると、その中に共通性があります。

野市 小五 八 森田 実咲

長岡 森田 実咲
野市 小笠原結那

長岡 西内 明利
須崎 田村 紗雪

地球には、たくさんの生き物、さまざまな生き物がいます。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということです。しかし、よく見ると、その中に共通性があります。

長岡 西内 明利

自分にと、て最高のものを実現するために、まず動く。そして考える。ことが大切だということです。自分から積極的に動いてみましょう。

須崎 田村 紗雪

自分にと、て最高のものを実現するために、まず動く。そして考える。ことが大切だということです。自分から積極的に動いてみましょう。

岡豊 小四 四 島村 心遙

自分にと、て最高のものを実現するために、まず動く。そして考える。ことが大切だということです。自分から積極的に動いてみましょう。

越知 藤崎 華乃

岡豊 島村 心遙
越知 藤崎 華乃

すさき 金堂 涼
上分 吉村はるか

友だちの話を聞くと、知らなかつたことや、自分もやってみたいと思うことが出てきてくわしく知りたくなることがあります。

上分 三 五 金堂 涼

友だちの話を聞くと、知らなかつたことや、自分もやってみたいと思うことが出てきてくわしく知りたくなることがあります。

上分 三 四 吉村はるか

友だちの話を聞くと、知らなかつたことや、自分もやってみたいと思うことが出てきてくわしく知りたくなることがあります。

岡豊 小三 二 中目 みのり

ミニトマトのみ、色は、みどり色です。みの先のほうは、赤いトマトと、同じにおいがあります。

あけう 二 中目 みのり

岡豊 中司 みのり
あそ まつさかのぞみ

多ノ郷 坂本みさき
べふ 片岡 脩平

ミニトマトのみ、色は、みどり色です。みの先のほうは、赤いトマトと、同じにおいがあります。

多ノ郷 坂本みさき

ミニトマトのみ、色は、みどり色です。みの先のほうは、赤いトマトと、同じにおいがあります。

べふ 小 二 片岡 脩平

ふたりは、なかなかに、なりました。また、あした、すさき、金どう、こな

すさき 一 金どう 一 金どう 一 金どう

ふたりは、なかなかに、なりました。また、あした、すさき、金どう、こな

すさき 一 金どう 一 金どう 一 金どう

すさき 金どう こな
うらのうち とくながあやと

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい
★臨書は出典名を記入のこと。

★新規 五級編入 仁淀川 吉永美佐 仁淀川 藤原杏実	★師範 福原 暁雲	隨意	★準師範 山本恵歩 北村桂旭 田村眉州
大野美賀 桑原智佐 別役美佐 丸田宏子 堅田清園 山中紅香 西村芳風 坂本碧香 氏原景泉 岩崎竹山 大崎花梢 松浦明子 吉田深美 橋本祝子 田村和子 松本世津 西内仁子 窪田碧泉 森光望春 高橋桜芳 大平圭子 藤原朱鳳 田中惠風 高橋朱鳥 平井百草 山川百合 大崎紫陽 岡田雄山 山西春草 横山桂子 池みき子	★六段 岡林 邦心	審査 伊吹悠道	★二段 岩谷紅花 岩村妙祥 岡村智慧 大井淳 浪上理奈 下元玉泉
★二級 尾立千賀 芝沙織 川崎志津 藤田美知子 小松悦枝 山岡斗子	★初段 西尾明美 市川金香 山口虎之介 濱田美恵子 前田伸枝 大原紀美子 和田恵美 山本房 松坂美枝 掛水勝恵	★四段 西岡仁陽 横田紫秋 杉本美邦 岡本薫山 瀨田順子 山崎隆志 中澤英子 西森啓助 浜恵子 高橋翠園 浜恵華	★三段 武内 美仁 渡辺加寿 坪内倫子
★三級 太田有紀 富山里恵 ○片岡桂子 ○藤原衣里子	★五級 多ノ郷 大城リサ 上分 梅原百叶 須崎 松田菜乃	第901回毛筆成績 ○印は昇級	★三年 佐々木港花
★一年 須崎 谷口桜心 長岡 宮脇改太 池川 鶴井香月 上分 小松希美	★七段 岡豊 島村倅空 長岡北村さくら子	★初段 高知 三本晴士	★特待生 朝ヶ丘 橋田茉奈
★九段 毛筆六年 深瀬 緑堂	★五級 仁淀川 吉永美佐	★四級 仁淀 藤原さくら	★二年 上分 田邊璃音 上分 柳本稀衣 長岡 竹内陽南子 須崎 田村拓海
★五段 梅原蒼葉	★三段 藤原乙羽	★九段 池川 藤原杏実	★三級 仁淀川 藤原杏実

★四段 岡豊 中司こころ	★三段 別府 後藤樹 池川 藤崎杜真	★新規 藤沢 八級編入 駒崎信慈	毛筆五年 審査 深瀬 緑堂	★九段 長岡 森田実咲	★八段 野市 小笠原結那	★七段 夜須 西村朝陽 小高坂 川西康介	★六段 吾桑 松坂美緒音 吾桑 高橋蒼來 須崎 金堂莉李
吾桑 小松太緒	★四段 吾桑 吉門蒼馬	★三段 吾桑 宮崎穂花 長岡 西内明利 夜須 清藤 蘭	★一級 上分 中山結愛	★三級 上分 ○赤崎南美	★新規 別府 八級編入 片岡龍成	毛筆四年 審査 奥堂 皓月	★七段 須崎 毛利香花 須南 西村太希
★六段 須崎 田村紗雪 浦ノ内 正木芳尚	★五段 上分 梅原未來	★四段 長岡 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 岡豊 島村心遙	★三段 多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 宮脇治太	★二段 越知 藤崎華乃 吾桑 長山優奈	★初段 長岡 澤村郁菜	★一級 野市 小笠原瑠那	★七級 別府○藤原すみれ
★九級 越知 ○宮脇未羽	毛筆三年 審査 奥堂 皓月	★五段 須崎 金堂 涼	★四段 上分 吉村はるか 多ノ郷 森光連太郎	★三段 吾桑 高橋依吹 新莊 中島彩斗 多ノ郷 橋田かほ 上分 橋田一か	★二段 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇牙 朝倉 根口心花	★初段 馬路 小松時生	
★九級 越知 宮脇芽生 池川 藤原汐零	★新規 九級編入 別府 金堂孝亮 長岡 吉永羽唯	もうひつ二年 審査 佐竹 江月	★三段 吾桑 松坂望未	★初段 吾桑 梅原由菜 野市 小笠原恵那	★二級 岡豊 ○荻 かお	★六級 岡豊 ○三谷斗維	★八級 別府 ○片岡脩平
★九級 べふ ○ふじ原みずき	もうひつ一年 審査 佐竹 江月	★二段 しんじょう 中島ゆいと	★初段 須崎 金どうこな	★一級 池川 鶴井遥都 別府 後藤和葉	★八級 池川 ○藤原成琉	★十級 池川 ○大西悠心	

のり代		氏名		段級		のり代		氏名		段級	
7年	月	氏	名	段	級	7年	月	氏	名	段	級
8	定					8	意				
規						隨					
第700回硬筆成績 ○印は昇級											
★八段 長岡北村さくら子 久礼 森岡 虹 長岡 宮脇改太 長岡 窪田英優 上分 竹内陽南子 須崎 田邊璃音 浦ノ内 谷口桜心 浦ノ内 美島希花 浦ノ内 松山 翔 ★九段 須崎 松田菜乃 上分 小松希美 ★七段 浦ノ内 森田 葵 課題違い 越知 片岡杏璃 ★六段 浦ノ内 山本彩喜 上ノ加江政岡桃加 吾桑 梅原蒼葉 須崎 田村拓海 ★五段 岡豊 中司こころ 潮見 須賀勇介 浦ノ内久保田健介 上分 柳本稀衣 岡豊 上ノ加江岩田愛菜 岡豊 島村倅空 ★三段 浦ノ内 中田瑚音 ★二段 吾桑 高橋芽生奈											
★初段 吾桑 堅田有咲 ★九段 審査 森本 寿山 ★八段 長岡 森田実咲 ★七段 野市 小笠原結那 夜須 西村朝陽 ★六段 須崎 金堂莉李 久礼 薦田コモモ 吾桑 松坂美緒音 夜須 高橋蒼來 越知 清藤 蘭 越知 米澤陽翔 ★五段 浦ノ内 中平滯里 久礼 黒原小夏 越知 西森優奈											
★四段 馬路 木下歌乃 吾桑 吉門蒼乃 吾桑 笠岡玲斗 吾桑 宮崎穂花 ★三段 長岡 西内明利 上分 橋田 陸 吾桑 笹岡蒼馬 ★二段 池川 北村日和 池川 片岡亜李紗 越知 大原穂乃花 ★初段 奈路 植野 新 上分 堀田瑛太 久礼 中山結愛 ★八級 上分 ○赤崎南美 ★九級 別府 ○片岡龍威											
★七段 審査 江西 澄翠 ★六段 浦ノ内 正木芳尚 ★五段 浦ノ内 藤田彩葉 浦ノ内 池田理人 須南 西村太希 ★四段 岡豊 島村心遙 越知 藤崎華乃 長岡 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 多ノ郷 宮脇治太 長岡 光梨衣奈 多ノ郷 梅原末來 多ノ郷 坂本大和 浦ノ内 山本瑞貴 ★三段 上ノ加江片山陽莉 野市 小笠原瑠那											

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 山 百 齋

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

上ノ加江吉原綾人 久礼 日林ゆあ 吾桑 長山優奈 久礼 松山まりん	★新規 九級編入 池川 片岡美桜	こっひつ 硬筆三年 審査 野中 恵花 ★五段 須崎 金堂 涼	★四段 上分 吉村はるか 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 橋田かほ 多ノ郷森光連太郎	★三段 浦ノ内 徳永隼斗 加茂 山岡瑞季 上分 中島あやと 上分 はし田一か 久礼 黒原李香 朝倉 根口心花	★二段 岡豊 中司みのり 池川 安井 颯 池川 北村心暖 池川 上村心晴 池川 片岡紗雪	越知 ○宮脇未羽		
池川 伊藤日向 久礼 下谷琴春 久礼 政岡有美	★初段	奈路 植野 葵 上加 政岡倉史 久礼 岩瀬 渉 岡豊 島村昇 牙 長岡 金堂孝亮 久礼 小林奈穂 吾桑 鈴木 花	★一級 上加 大内ゆずの	★二級 大谷北○倉持百花 久礼○加茂海弥美 城東○丸山颯士 吾桑 ○村上こゆ 吾桑 ○宮崎陽香 吾桑 ○堅田彩乃	★四級 馬路 木下魁人	★五級 長岡 ○大塚もも		
★九級 越知 ○宮脇芽生	★十級 池川 ○藤原汐零 久礼 ○佐竹真到	★新規 九級編入 別府 吉永羽唯	こっひつ二年 審査 小川 理香	★四段 吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由菜	★三段 多ノ郷 坂本美咲 浦ノ内吉岡まひろ	★二段 浦ノ内 宮田衣音 浦ノ内 中平湧大 附属 江頭 航	★初段 浦ノ内寺内かのん	
久礼 森岡 紅	★一級 野市 小笠原恵那 高岡 隅田しゅう 佐川 井上めい	★二級 久礼○奈路かなえ	★三級 岡豊 ○荻 かお	★五級 上分 ○橋田果歩	★六級 岡豊 ○三谷斗維	★七級 別府 ○片岡脩平	★九級 べふ ○ふじ原みずき	★十級 久礼細木しょうき

中国文房宝
国産書道用品
久保田号銘筆

有限
会社

樹 筆 堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
T E L (088) 8 8 2 - 1 4 5 4
F A X (088) 8 8 4 - 7 4 1 3

(出品票)

のり代

7年
8月
毛筆

校名

学年

氏名

段

級

のり代

7年
8月
硬筆

校名

氏名

段

級

こうひつ一年
審査 市原 處艸
★二段
しんじょう
なかじまゆいと
★初段
須崎 金どうこな
別府 後藤和葉
★九級
浦ノ内
○とくながあやと
久礼
○小林じゅんな
久礼
○日林にこ
池川
○大西悠心
★十級
久礼○毛利いろは
池川 藤原成琉
★新規
十級編入
浦ノ内
やまさきひな
吾桑 鈴木 杏

こうひつ
ようち・ほいく
審査 市原 處艸
★七級
おひさま
○もりみつるな

令和7年度7月からの事業計画予定表

月 日	時 間	行 事	場 所	室
7月7日(月)	9:00~12:00	龍跳展搬入	高知県立美術館	
7月8日(火)	9:30~17:00	第68回龍跳展		
~13日(日)	最終日15:00まで			
7月13日(日)	15:00~	搬出		
7月13日(日)	16:00~	龍跳展慰労会	高知城ホール	やまもも
7月27日(日)	9:30~12:00	7月審査会	高知城ホール	やまもも
	13:00~15:00	県展出品作勉強会		
8月24日(日)	9:30~12:00	8月審査会	高知城ホール	やまもも
	13:00~15:00	県展出品作勉強会		
9月7日(日)	9:30~15:00	秋季昇段級試験 準備・試験	高知城ホール	やまもも 小会議室
9月21日(日)	9:30~12:00	9月審査会	高知会館	
10月26日(日)	9:30~12:00	10月審査会	高知城ホール	やまもも
	13:00~15:00	錬成会		
11月23日(日)	9:30~12:00	11月審査会	高知城ホール	やまもも
	13:00~15:00	錬成会		
12月21日(日)	13:00~15:00	12月審査会	高知城ホール	やまもも
	15:00~17:00	新年試筆作品提出 忘年会		

秋季昇段級試験作品募集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

。課題

大漠沙如雪 燕山月似鉤
何當金絡腦 快走踏清秋

大漠沙雪の如く／燕山月 鉤に似たり／何か當に絡腦を金にして
／快走 清秋に踏む

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ十月五日帖より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。
。当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

秋風南陌無車馬 獨上高樓故國情

秋風 南陌 車馬無し／独り高樓に上る 故国の情

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ十月五日帖より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
。当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 (受験資格 一般部級位の者)

。課題

秋雲靜晚天

秋雲 晩天に静かなり

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。
。当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料 師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳」七月号掲載(七月二十日締切)の課題字句とします。

。規格は半紙。一人一点とします。

。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。

。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。

。出品料 五百円

※出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち込む場合は、八時三十分〜九時迄の受付です。

△作品の締切 令和七年九月四日(木) 必着のこと。

△審査日時 令和七年九月七日(日) 午前九時三十分より

△審査場所 高知城ホール

△受験作品送付先 〒七三〇〇八一 南国市片山四九〇 西山極山 宛

② 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781—1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳書局 松崎口松崎町

01690-3-31925

電話(〇八八九) 三五—〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783—0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五—八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781—7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話(〇八八七) 二九—二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785—0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九) 四二—三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785—0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花
電話(〇八八九) 四七—〇七二一番

あとがき

社会福祉法人須崎市保育協会と市立保育園の卒園証書
を書き初めて34年。

きっかけは須崎保育園に勤務していた、今は別の園の
長女の一言から。

1年目は娘さんから聞いたと言つて8園から持つてき
ました。

2年目から広がり全園から、当時は現役でした。わりか
し多くて250枚、書いた記憶がありますが、3年目から子
どもの減少で急激に少なくなつていきました。

書いた枚数も覚えていません。

数年後には5ヶ所の園が閉園になり、現在は統合く
で7園になっています。

何と今年の卒園者は87名まで減少しております。

今後、須崎市保育園の将来が心配です。

月例競書課題

部 別	締切日	
	八月二十日 締切	九月二十日 締切
一般条幅	任 意	任 意
半紙規定	投杖頻出門	秋水界平野
半紙随意	任 意	任 意
中学三年	競泳大会	言語表現
" 二年		
" 一年	海水浴場	科学技術
小学六年	高校野球	体育大会
" 五年	水車小屋	足音高し
" 四年	北斗星	秋の山
" 三年	月 光	夕 日
" 二年	ぼ ん	む し
" 一年	な つ	そ ば

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 : 半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10~)
(幸便搬送の方は〒料不要)

①	1 冊	180円
②	2 冊~7 冊	210円
③	8 冊~20冊	430円

21 冊以上は次の計算による。

21 冊 ③+ ①= 610円×月数
22 冊~27 冊 ③+ ②= 640円×月数
28 冊~40 冊 ③× 2 = 860円×月数
50 冊の場合 ③× 3 = 1,290円×月数

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 暁雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人

福原 暁雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-10081 南州市片山四九〇

西山極山宛

電話 (〇八八) 86518857